

## 第3回 六甲山系有馬地域学習ゾーン検討委員会

### 議 事 要 旨

1. 開催日時：平成25年2月15日(金) 10:00～12:00
2. 開催場所：有馬地域福祉センター 2階会議室
3. 出席者：

#### 【委員】

|       |                           |          |
|-------|---------------------------|----------|
| 宮田 隆夫 | 神戸大名誉教授                   | 構造地質学    |
| 香西 直樹 | 六甲山自然案内人の会 代表             | 自然(六甲全体) |
| 水野 浩典 | 神戸市立有馬小学校 校長 (神小研理科部参与)   | 自然(郷土)   |
| 稲垣 健  | 神戸市立鹿の子台小学校 校長 (前指導課指導主事) | 郷土史      |
| 藤井 清  | 有馬温泉郷土史研究家                | 郷土史      |
| 藤木 久幸 | 有馬川を美しくする会 会長             | 地域活動     |
| 神野 忠広 | 六甲砂防事務所事務所長               | 砂防・防災    |

#### 【事務局】

|               |                 |
|---------------|-----------------|
| 六甲砂防事務所       | 森東課長、杉浦係長、西山技術員 |
| 株式会社エイト日本技術開発 | 田中、松本、松島、嶋田     |

#### 4. 配付資料

- 議事次第
- 第3回検討委員会資料(資料①～⑤)
- 参考資料 冊子「みんなで語り、伝えよう！有馬川物語(案)」、散策マップ(表面:案)、サブノート(案)

#### 5. 議 事

|                              |                 |                     |
|------------------------------|-----------------|---------------------|
| 1. 開 会                       |                 | ・六甲砂防事務所 神野事務所長あいさつ |
| 2. 議事                        |                 |                     |
| (1) 第2回検討委員会議事要旨について         |                 | ・事務局による説明(資料①)      |
| (2) 川物語のとりまとめに向けて            |                 | ・事務局による説明(資料②)      |
| (3) 冊子に関する意見と反映について          |                 | ・事務局による説明(資料③)      |
| 意見交換                         | ①不思議編について       |                     |
|                              | ②素晴らしさ編について     |                     |
|                              | ③安全・安心編について     |                     |
| (4) 散策マップ・サブノートに関する意見と反映について |                 | ・事務局による説明(資料④)      |
| 意見交換                         | 散策マップ・サブノートについて |                     |
| (5) 活用方策について                 |                 | ・事務局による説明(資料⑤)      |
| 意見交換                         | 活用方策について        |                     |
| 3. 閉 会                       |                 | ・六甲砂防事務所 神野事務所長あいさつ |

## <議 事>

### ●事務所長あいさつ

### ●資料① 事務局説明

宮田委員長欠席のため香西委員に委員長代行を委嘱

### ●質疑応答

意見なし

### ●資料② 事務局説明

### ●質疑応答

意見なし

### ●資料③（不思議編） 事務局説明

### ●意見交換

#### ①不思議編について

（水野委員）

P1-3の仁西上人の話の中で、「しらが」とあるが「はくはつ」の方が良いのではないかと。

P1-5の丹波層群の由来に関する記述について、場所だけでなく積もった時期的なものも関係するのではないかと。

（稲垣委員）

ふりがなが振られて親切になっている。しかし、射場山のふりがなについて「いば」だけ振ってあるが、「やま」まで振ってしまうほうがよいのではないかと。

（水野委員）

断層の名前は地名がつくことを説明してはどうか。また、P1-7、8の六甲山のでき方について、圧縮によってできたものなのか。浮力も関係しているという話を聞いたことがある。確認して欲しい。

（香西委員長代行）

圧力によるものと聞いている。

（水野委員）

P1-8に氷期が終わって温暖になり、海面が上昇したという説明があるが、氷が溶けたことで海面が上昇したという説明を加えてはどうか。

### ●資料③（素晴らしさ編） 事務局説明

### ●意見交換

#### ②素晴らしさ編について

（稲垣委員）

全体マップや地図などに影響する話であるが、有馬川の上流、中流、下流についてどこからか示す必要があるのではないかと。例えば、P2-17の写真のタイトルで山口町が下流とされている。写真を差替えるか、タイトルを変えるなど、全体的に統一を図る必要がある。

（水野委員）

P2-38、入初式はふりがなが必要である。

（神野委員）

大己貴命の漢字について、「己」と「巳」で書かれた箇所がある。確認して統一すること。

（水野委員）

P2-5、田中芳男と牧野富太郎の紹介について、先に牧野富太郎が紹介されているが年齢は田中芳男が上であることから、紹介の順番を逆にしたほうが良いのではないかと。また、有馬山植物一班については森林植物園にて展示することとなったため、「小学校で保管されていましたが、今は森林植物園で

展示されています。」というような記述をしてほしい。

●資料③（安全安心編） 事務局説明

●意見交換

③安全安心編について

（神野委員）

P3-3、大きな災害は30年～40年に一度やってきたとあるが、過去形が正しいのか。確かに災害の周期説というものもあったが、年表などを示さないとわからない。表現と内容について再検討を行う必要がある。

●資料④ 事務局説明

●意見交換

（藤木委員）

サブノートP11の史跡と関連することばをむすぶ問題について、線の引き方が錯綜するものがある。例えば、ひょうごの森百選は有間神社と公智神社に該当する。固有性のある言葉へ見直しを行う必要がある。

また、サブノートP15、16にて冊子の参照ページを示す記載があるが、冊子のページ番号とずれているため、修正してほしい。

（神野委員）

サブノートP14の後鉢巻下谷の図タイトルについて、「阪神淡路大震災」とあるが「阪神・淡路大震災」へ訂正すること。

（香西委員長代行）

サブノートP6のシロヨメナとイヌタデの写真が逆転しているので、変更すること。また、P7のタムシバとマンサクの写真については花の形が分かる接写の方が良いのではないか。別の河川の写真を使用してはどうか。冊子も同様である。

（水野委員）

炭窯跡の写真について、もう少し全体像がわかるような写真に差替えて欲しい。

（神野委員）

冊子P2-9、10のスミスネズミの写真について解像度の高いものに合わせてはどうか。

（水野委員）

冊子P1-23のホタルの説明について、飼育を行っているホタルはゲンジボタルであるため、本文中に明記してはどうか。また、ホタルの種類を比較しているが、併せて飼育のサイクルなども紹介してはどうか。写真については小学校で保管していることから、提供可能である。

●資料⑤ 事務局説明

●意見交換

（稲垣委員）

神戸市では、国の本だけではなく、神戸市に特化した教材も使用している。その教材のデータは小学校へ配布しており、教材の図やグラフを拡大してパソコンから投影することができるため、非常に好評である。そのようなデータの配布ができれば良いのではないか。

（香西委員長代行）

配るだけではなく、存在を周知するということが必要である。神戸市の小学3年生を対象としたグリーンサポートの発表会などで説明してはどうか。

（神野委員）

目に触れる機会を増やすことは重要であると認識している。作った人や担当した人も変わってしまう中で、作るだけでなく継続して使っていただくことが大切である。そのためには、アピールも必要であろう。そのような場で、完成流域の冊子を見本として展示することは可能である。

(香西委員長代行)

紹介用のチラシのようなものは作れないのか。

(神野委員)

A4 一枚の裏表を使えば冊子の紹介は十分できると思う。具体は問い合わせてもらいたいような内容で検討したい。

(稲垣委員)

神戸新聞などのマスコミに情報発信してはどうか。

(神野委員)

一通り神戸市の河川の冊子が完成することから、前向きに検討していきたい。

## ●閉会挨拶

(神野所長)

有馬川物語の活用については、今日出た意見を踏まえて、今後取り組んでいきたい。皆様方の智恵をいただいてつくったものなので、うまく活用できるように最善の努力をしていきたい。

印刷は来年度になるが、でき上がったときには、できる限り早く印刷をして皆様に届けるつもりである。ありがとうございました。